

あ と が き

日本における心身医学の鼻祖であり、日本心身医学会の名譽理事長そして九州大学名譽教授である池見西次郎先生の巻頭言は、長年にわたって生涯をこの道一筋に貫き通され、体験実践された精華が文中諸所にほとぼしり、珠玉の光を放ち、われわれ治療者のあるべき姿を教示しておられる。病める患者を心身一如の立場から全人的に治療の手立てを行うことが、今日では全世界的な流れとなっている。一口に良好な医師患者関係といっても、それを維持し発展させることは仲々に容易ではなく、多忙な臨床でついぞ忘れ去られがちであり、常日頃お互いが治療者の人格の涵養に自ら努めねばならないものと考えている。

考え方や価値観を異にし、スピードアップされた競争社会に多くの人々が住み、それぞれの希求を達成することは、現代のわが国では容易なことではない。人は

biopsychosocio ethical な存在であり、それだけにストレス社会を背景に common disease でありながら仲々治りにくい病態が増加している事も事実である。それらがいわゆる心身症であり、誰しもかかり易く、また治り易いことでも知られている。学生諸君への講義で驚かされるが、いまだに心身症を精神疾患と混同している向きが大部分であり、心身症は決してそのような病態ではないことを、更めてここに明記しておきたい。

心身医学は今や臨床医学における診療の基本であり、古今東西に通ずるものである。西洋医学、東洋医学そこに心身医学が相加協力するとき、池見教授の言われる全人的医療が花開き、真の患者の為の医療となるものである。

(内田安信 記)

医学会幹事会要旨 (平成3年10月)

1. 第128回医学会総会のシンポジウムのタイトルは、「画像医学における新しい診断技術」に決まったことが報告された。
2. 編集状況の報告並びに編集について討議した。
3. 50巻1号の巻頭言は、WHO 事務総長中嶋宏氏に依頼することが決定した。
4. 新年度の評議員全員が各選出母体から選出されたこと

と、またこの評議員の互選により幹事を選出し、11月2日開催予定の医学会総会で評議員、幹事共に承認を得る予定であることが報告された。

5. 学協会著作権協議会への複写権委託と CCC 登録参加について討議したが、この件については、資料を持ち帰り検討することとなった。

編集委員会

三 輪 哲 郎 (会 長)
登 坂 恒 夫 (副 会 長)
三 浦 幸 雄 (//)
渋谷 健 (庶務幹事)
山 澤 埜 宏 (//)
藤 巻 道 男 (編集幹事)
小 林 春 雄 (//)
古 川 欽 一 (会計幹事)
内 野 滋 雄 (//)
外 野 正 己 (委 員)
網 野 三 郎 (//)
船 坂 宗 太 郎 (//)
三 浦 四 郎 衛 (//)
永 井 義 一 (//)
小 柳 泰 久 (//)
伊 藤 洋 (//)
河 北 英 詮 (//)
西 里 吉 則 (//)
藤 波 襄 二 (監 事)
内 田 安 信 (//)

J. Patrick Barron (英文校閲者)

平成3年10月20日 印刷

平成3年11月1日 発行

東京医科大学雑誌 第49巻 第6号

発行者 三 輪 哲 郎

発行所 東京医科大学医学会
(東京医科大学総務部企画調査課内)
東京都新宿区新宿六丁目一番地一号
TEL (3351) 6141 (代)

印刷所 共立印刷株式会社
東京都中央区新川2-23-9
TEL (3551) 9891 (代)